



グループ Triple P

グループTriple Pとは？

グループTriple Pは、12歳までの子どもを持つ、様々な子育て技術を学びたい保護者に向けての、8週間の幅広い子育て支援です。子どもの発達や可能性を促す様々な子育て技術を学びたい保護者、または子どもの行動に心配がある保護者に適しています。プログラムでは、最大12名からなるグループに向けての、4回のグループセッション(各2時間)を行います。保護者は、子どもの行動の問題の要因を知る、具体的な目標を立てる、子どもの発達を促したり難しい行動に対処する方法を使う、リスクの高い状況に向けて計画する、などについての様々な演習に積極的に参加します。それに続き、3回の個別電話相談(各15-30分)を行います。電話相談では、保護者が家庭で技術を実践する中での問題解決を、自分でできるように保護者を支えます。そして、もう一度グループで集まり、進展を振り返り、進歩の維持・一般化について話し合い、最終のアセスメントを行います。

どんな保護者に向いているのでしょうか？

グループTriple Pは、軽度から中度の子どもの行動の問題に困っている保護者、またはそのような問題が起こるのを防ぎたい保護者に効果的です。このレベル以下のプログラムを修了した保護者で、自分の目標を達成できなかった保護者にも、グループTriple Pは効果的です。通常このような保護者は、様々な子育て技術を様々な状況に適應することを学びたいと思っています。保護者の皆さんは、全8セッションに出席する意志が必要です。

保護者とのセッションでの内容は？

セッション1: 前向き子育て。このセッションでは、前向き子育てとは何か、また子どもの行動の原因について紹介し、変化への目標設定の仕方を提供します。このセッションの始めに、保護者に記入したアセスメント冊子を提出してもらいます。

セッション2: 子どもの成長への手助け。このセッションではファシリテーターが、子どもとよい関係を築く方法、好ましい行動を励ます方法、そして子どもに新しい技術や行動を教える4つの方法を紹介します。

セッション3: 難しい行動に対処する。このセッションではファシリテーターが、保護者が難しい行動に対処するのを助ける方法をさらに紹介します。また、子どもが指示に従うよう促したり、指示に従わない時に対応したりする、しつけの手順の作り方も学びます。このセッションでは、保護者がこれらの手順を練習する機会もあります。

セッション4: 前もって計画する。このセッションでは、「家族のサバイバルチップ」を紹介します。また、保護者が懸念する子育ての「ハイリスクな状況」(例: 買い物、順番を待つ、兄弟げんか、学校に行く支度をするなど)を見つけ、そのハイリスクな状況で好ましい行動を促す「計画された活動の手順」の作り方を紹介します。またこのセッションでは、電話相談の準備もします。

セッション5-7: 前向き子育ての技術を実践する (第1回—第3回)。電話相談では、保護者が最初に記入したアセスメントについてファシリテーターが報告します。また、自己調整の枠組みを使って、保護者がハイリスクな状況に対する計画された活動の手順の実施を振り返るのを補助します。そこから、必要に応じて保護者が手順をさらに改善するための目標を立てます。

セッション8: プログラムの修了。保護者は最後のグループセッションに参加します。進展を振り返り、変化を維持する方法について触れ、将来に向けて計画し、プログラムを終了します。必要であれば、今後の紹介のオプションも話し合われます。



保護者向けの教材は？

各家庭にグループTriple Pグループワークブックが1冊配布されます。このワークブックには、すべてのセッションの内容、演習について書き込むスペース、そして宿題の説明が載っています。

プログラム実施にかかる時間は？

各セッションの時間に加えて、ファシリテーターには、親の満足度アンケートの採点、セッションの準備、またはスーパービジョンを受ける時間が必要です。各グループに必要な時間についてのガイドラインは、以下の表をご参照ください。

コース	対面相談またはグループセッションの時間	アンケートの採点と報告—プログラム前後のアセスメント*	電話相談または家庭訪問	セッションの準備とセッション後の振り返り・スーパービジョン	各家庭についての記録・報告書作成**	合計時間
グループ Triple P	10時間 (2時間セッションを5週)	5時間	15時間 (10家庭対象、各家庭30分セッションを3週)	5時間	5時間	グループにつき40時間

*クライアント満足度アンケート (CSQ) を採点するために、各家庭につき2-3分がさらに必要となる。

**行政機関向けの詳細な報告書は含まれない。

プロバイダートレーニングの内容は？

グループTriple Pを提供するには、プラクティショナーは積極的な技術養成のプログラムと、プログラム実施に関する知識と技能を示す、技能ベースの認定プロセスを修了する必要があります。以下の表に、トレーニングや支援の日に参加する時間と、準備やファシリテーターのピアサポートに必要な時間が示されています。

コース	養成講座の日数 (9.00am - 4.30pm)	認定前ワークショップ (9.00am - 4.30pm)	認定試験の準備に必要な時間	認定試験日	ピアサポート	合計時間
グループ Triple P	3日	1日	4-6時間 (クイズと技能の準備)	半日	2-3時間 (毎月1時間のミーティング)	5½日

プラクティショナー向けの教材は？

各プラクティショナーには、養成講座で以下のTriple Pファシリテーター教材を1部ずつ配布します：

- グループTriple Pファシリテーターキット (ファシリテーターマニュアル、グループTriple PパワーポイントプレゼンテーションCD-ROM、「グループTriple P前向き子育てプログラム・グループワークブック」を含む)
- すべての親のためのサバイバルガイド (DVD)